

(別紙4(2))

事業所名: グループホームからこ

目標達成計画

作成日: 令和 2年 8月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の人との関係を築けて行けるように、地域の方への介護教室や認知症サポーター等の地域貢献を行っていく。	認知症サポーターの受入れや自施設での認知症サポーター養成を検討する。	新型コロナウイルス感染症などが落ち着き次第、認知症サポーター・地域ボランティアの受入れの検討や認知症サポーター養成研修等への参加を行う。	6ヶ月
2	4	地域の方へホームの中身を透明化できるよう、運営推進会議で事故報告の情報を伝えることも必要である。	施設の取り組みについて、更に詳しく地域に向けて情報を発信する。	現在は、運営推進会議や「グループホームからこ便り」を通じて施設の取組を伝えているが、今後は透明化を図るため事故報告や事故防止対策の取組についても伝えていくよう検討する。	4ヶ月
3	20	新型コロナウイルス感染症が長期化する事も考え入居者様のストレス軽減を図るため、ご家族・知人の方との面会をモバイル化(オンラインでの面会)することが必要。	(新型コロナウイルス感染症などの)状況に応じた面会方法(手段)の検討を行う。	通信状況が悪いことや通信機器類がないことから玄関ガラス越しの面会や請求書送付時に近況の写真を同封する。	3ヶ月
4	35	法人全体としての災害マニュアルは作成しているがホーム独自としては作成していない。火災の訓練は年2回程度実施しているが、災害の訓練は行っていないのが現状。	今年度中にホーム独自で災害訓練(最低1回)の実施を行う。	ホーム独自での災害マニュアルを作成し災害の訓練実施、備蓄品の整備を行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。